臺灣日日新報（日曜日）　第一万三千四百六十七號　昭和十二年九月十九日

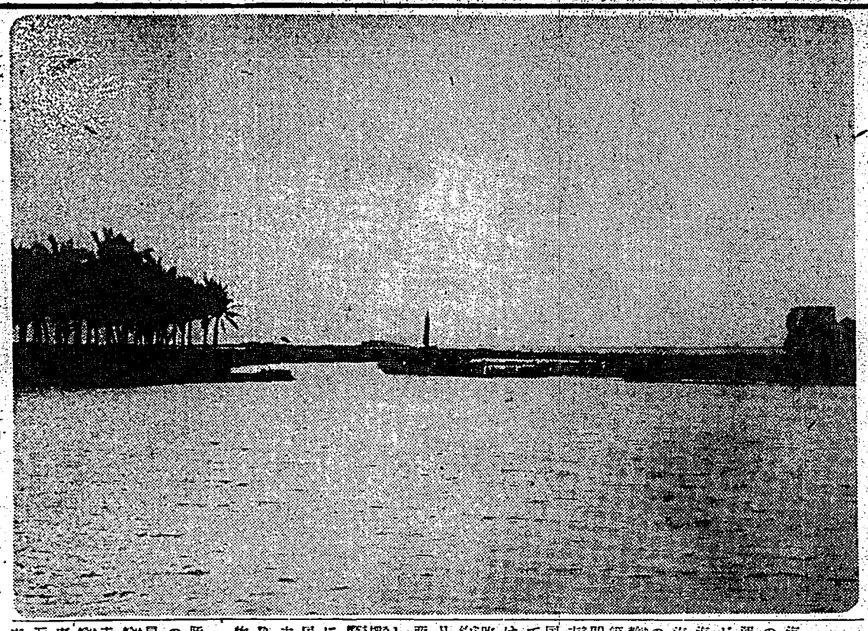
臺灣昌新民幸報 夕刊 九月十八日 夕刊定價一部二錢

（第二版）（原稿配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

海口を砲撃 我が軍艦○隻 一時間に亙り

海南島

（香港十八日發同盟）去る十六日午後五時三十分我軍艦○隻は海南島の主要港海口を砲撃し支那側も砲臺より反撃し來り交戰約一時間にして埠頭其他軍用施設に多大の損害を與へて引揚げた（寫眞は海口）



海口市

海口市は瓊島瓊山縣の北海口港の對岸、南渡江口の西岸に在り、陸運には軍路の各縣に聯絡するものがあり、海航には香港、廣州、北海、遲滯、安南、新嘉坡等の定期商船の往來するものあり、海南の交通は本島の重要地を占め、特出入貨物は大半此處に集散し南部一の繁榮市場である。總數八年開市以來境内整備に力を注ぎ民國十五年十二月に瓊海關が設けられて以來益々其の他貿易も亦增進の一路を辿り、海口市政府は第一、二兩區を以て區分し、而して中山路、西門路、四馬路、新興街、德勝沙等の外を最も繁榮を為し、第三區は多くは村落に屬し、人口約四万五千餘あり、居留外人は男女共四十餘名を占め主要の工商業は反物、洋莫、紙料半成物、雜貨、米穀、雜糖、海產物、九八行（兩替業者）等で此處に於ける取引高は年額約一千萬圓（一千萬兩）に上る（「海南島」による）

敵の密集部隊に 爆撃を反復敢行

羅店鎭西方に於て

【上海十八日發同盟】第○艦隊派遣部十八日午前九時發表

一、陸軍當局に協力せる海軍航空隊の一部は十七日羅店鎭西方に退却中の敵密集部隊に對し執拗なる爆撃を加へ又別に蘇州方面の敵陣地を爆撃せり

二、わが水上偵察機○機は十七日午後四時頃敵カーチスホーク戰鬪機數機と遭遇し之が撃墜の為敵に多大の損害を與へて引揚げた（「海南島」による）

堅固な陣地構築

江灣鎭、大場鎭、劉家巷の線に

【上海十七日發同盟】わが陸軍部隊の前進に伴ひ江灣鎭（一部略）大場鎭（一部略）劉家巷鎭を連ぬる線上に堅固なる陣地構築され、殊に大場鎭、劉家巷鎭間は東西に北面の陣地が數線に布かれ陣地帶ともいふべき觀を呈してゐる、或る所の如きは二、三時に亙つて猛爆の加へ出る程に陣地線を通れ小銃にもこの線を死守の決意情で喰ひ入る敵形振りであるといふ

上海との連絡を保つため 敵が陣地强化

【上海十七日發同盟】わが第一線正面前進に對し支那側では第一線と上海との連絡たれる事を恐れ敎日來共同相異、北停車場路と支那街との境界、北停車場附近その他共同租界と市外間の主要交通線の陣地强化を圖りつつあり最近彼國四川路方面に數次に亙り大兵を集中してゐるものこの工事促進の為と見られてゐる

我が陸戰隊、砲兵隊 痛烈な反撃を加ふ

十八日拂曉敵が砲撃し來つて

【上海十八日發同盟】閘北の我が陸戰隊、砲兵隊は之に對し猛烈なる反撃を加へ來つた、我が陸戰隊、砲兵隊は之に對し猛烈なる反撃を加へ、終に一時間餘に亙る敵の砲撃を沈默せしめた

蔣の自業自得病

△△△△△△ 昔から求めた病、自ら求めた病氣、この病ばかりは薬を投じてゐる

その日その日

○ "落ちの早業"、見事な腕前に感心させられる

○ 警視廳、何時の間にか敵次第に警察官らしくなつて來た

○ 大臣邸で、打ち合せに來る時、絶えず電話をかけるのが常であるかの樣な電話の多い樣子

○ 正面からは、日本から受ける感謝の聲、背後には"鋼"の樣な共產黨、おまけに前後左右、正に進退兩難

○ 實力の發揮とかなんだかなくなつたので、いよく我國に、ゼネバやワシントンで、活の發揮を展開

○ この方は、大砲や飛行機より尊ばしいか、重點を正常の前にはこれも敢鋭必定

○ 我が國民代表、"堅い團結の表現"を忘れて、"分裂"の素地を作つてゐるのもこの工部局當局の為と見られてゐる

○ 米國の外交手腕、國際の大國なんかは、とても及ばれた。

○ 九・一八當時このかた滿六年、極東の大陸には、二十年も五十年の經過に値つてゐる——

○ 日滿支の協力しなければならぬ關係の改善に伴ひ、今後に殘る日本國民の重大責務、心を新めて

○ そそう致ゆく點のとに、我が國民の期待に副ふ樣、かすかずの實績、を編さんし

人事

▲加藤泰平氏（滿鐵參事兼大連埠頭事務所長）十八日內地より無任

▲曾田敏治氏（滿鐵庶務部長）十八日內地より歸還

▲能澤外茂吉氏（滿鐵理事）十八日內地より歸還

▲黑河利治氏（滿鐵參事兼撫順炭礦長）十八日午前十時三十二分發列車にて赴任

▲高橋龍吉氏（滿鐵資源局理事兼鑛務課長）新任發令のため十七日來社

▲金子剛平氏（滿鐵資源局理事兼鑛業課長）新任發令のため十七日來社

▲福元榮吉氏（出張中のところ十八日歸社

産糖供給協定の 根本方針は一致

十七日に第四回準備委員會

【東京十八日發同盟】日本精糖聯合會では十七日及び四日の二日間に亙り第四回供給協定に關する第四回準備委員會を開催し協定締結の根本方針につき協議の結果時局に鑑み極力協調し兩國立場を圖ることに意見一致したので供給基本數量、供給期間等の根本問題に關しては滿洲の事情を考慮して今後協議會を開けることになつたが具體的なところ次回の如き意見が有力である

一、供給基本數量

豫備會議に於ける明年度實需額は滿洲國四千七百二十万擔、南洋百十万擔、計千八百四十万擔の消費を豫想するに鑑て、なるべく多額の消費を豫想するに鑑て、なるべく多額の供給を希望する意見最も有力である、從つてこれに依つて生ずる過剩糖約四百四十万擔に對する處理問題は殆んど問題にならないから明年度において此點の討議は殆んど必要としないものと見られる

二、供給區域

豫備會議の意見を參酌して一、十一兩月に於ける滿洲國の需要を考慮し、日本國内十四年一月三十一日に於ける在庫を見、更に滿洲國に於ける在庫を見、更に滿洲國に於ける在庫を見、更に滿洲國

進撃進撃また進撃

長城線を越えて北進
豐鎭を完全に占領す
○○軍の千田部隊

【大同十八日同盟特派員發】中央長城線を越えて北方に進撃中の○○軍千田部隊は十七日午後一時頑強に抵抗する敵を殲滅し豐鎭を完全に占領した豐鎭は平綏線中部の要地にして平綏遠第一の要衝たる平地泉の前線基地である

牛新店（津浦線）を占據

【宣撫にて十七日開戰特派員發】前線にて連日激戰しつつ攻進中の沖田兩部隊は宣撫より側面南方に進撃部隊進しつつあり遂に十七日午後四時四十分に張り遂にこれを占據し我軍の作戦を有利ならしめた

北上樂、石佛莊に進撃

【北平十八日發同盟】軍司令部十八日午前九時二十分發表

一、平漢線西北地區に於けるわが部隊は本十八日早朝七時四十分北上樂（保州の西方約十六キロ）石佛莊（保州の西北約八キロ）の線に進し追撃中なり

二、牛新店西方地區を西進中たりしわが部隊は本十八日午前七時二十分頃牛新店の西方約二十四キロ附近高河の線に達しいで西進中なり

劉汝明負傷す

【天津發十八日同盟】軍司令部十前十時三十分發表

一、昨日午後一時半田部隊は樂大同北方五十粁の豐鎭を占據したるが其後敵は豐鎭の東北約八キロの線に進み夜七時本城西に到着した、部隊は該方面の殘敵掃蕩に任ずる筈

二、牛新店西方地區を西進中たりしわが部隊は本十八日午前七時二十分頃牛新店の西方約二十四キロ附近高河の線に達し次いで西進中なり

三、平綏線西北地區に於けるわが部隊は本十八日早朝七時四十分北上樂（保州の西方約十六キロ）石佛莊（保州の西北約八キロ）の線に進し追撃中なり

四、平綏線西北地區に於けるわが部隊は本十八日早朝七時四十分北上樂（保州の西方約十六キロ）石佛莊（保州の西北約八キロ）の線に進し追撃中なり

五、牛新店（津浦線）を占據

【宣撫にて十七日開戰特派員發】前線にて連日激戰しつつ攻進中の沖田兩部隊は宣撫より側面南方に進撃部隊進しつつあり遂に十七日午後四時四十分に張り遂にこれを占據し我軍の作戦を有利ならしめた

六、北上樂、石佛莊に進撃

【北平十八日發同盟】軍司令部十八日午前九時二十分發表

一、平漢線西北地區に於けるわが部隊は本十八日早朝七時四十分北上樂（保州の西方約十六キロ）石佛莊（保州の西北約八キロ）の線に進し追撃中なり

二、牛新店（津浦線）を占據

【宣撫にて十七日開戰特派員發】前線にて連日激戰しつつ攻進中の沖田兩部隊は宣撫より側面南方に進撃部隊進しつつあり遂に十七日午後四時四十分に張り遂にこれを占據し我軍の作戦を有利ならしめた

七、

秋の七草

乃木將軍と撫子

日本人のみ理解する風情

東大附屬植物園 松崎直枝

秋の七草は、奈良朝時代の歌人憶良の秋の野に咲きたる花を指折り數へれば、「秋の花、萩花、葛花、撫子花、女郎花、藤袴、朝顔の花」とあるに原拠し事ら支那渡來の草を集めたものである。だが實際には季節に合はぬものも入れてある。

…

例へば撫子の花などは、秋には既に終つてゐる。それから時代が變つて來る秋の七草の様式も、各人各個になつて植風、カルカヤなそが入つて來る。ここで一寸注意して置きたいのは憶良の歌の中に數げられた朝顔は、桔梗の事であるといふ、学説になつてゐる。

…

近來はまた、新七草などといふのがあり、假龍花、秋海棠などが入つて居る。然しそれも悪くはない。唯その七草の趣味は、全く秋と云ふものを背景にした所謂東洋趣味の觀照を誘れてはならない。それを西洋人が花を觀賞する點合には、花の色彩、形、姿の三点が要点となる。今假りにさういふ點からしたら、秋の七草のどれが、それに當はまるであらうか。

…

秋の野の風情として、殊にそれは傳統的に珠められたもので、やはり「鳥のべて朝野にゆかん…」の歌のやうに、七草を觀賞するには、まだ露が草葉に宿る早朝が最も よいのである。ひつさと秋草の花は葉頭の美であつて、一つ一つの花よりも秋色の中に調和な花の姿を出でた、淑しい所を觀賞するにある。

…

秋の七草といふ風に古來の題に編つけられてゐる。その七草は、日本人にのみ理解される秋の野の風情である。萩の花は「萩花」といふ文字から來る感覺で一種の深い味を感する。女郎花、之もどつちかといふと「女」といふ感想——即ち「おみなへし男には心せ……」の古歌などから來る優しい感じなのである。

…

撫子の花——花としては、觀賞にも用められて居り、色も美しく之などは花としては最も美なものといつてよい。

乃木將軍と撫子の花については、學習院長時代の頃、或る生徒を連れて郷南は片郷に越いた。その途中一生徒が路端に優しげに咲ける撫子の花を數本折取つて來てゐたが、程なくそれを打捨てた。すると將軍はその生徒の肩を叩いておいて「はいかん、花を取るのなら何か利用の目的があるならいいが、一時のほしさに折取るのでは感味をなさん、路傍の草花は道を歩く人の目をの位慰さむるか知れん、それを無感味に取るといふことは、子供と雖も慎まねばならぬ」

私（松崎氏）は從にこの將軍のお考へが、そこまで育まわたつて子弟を教育された事を非常な感激と共に記憶してゐる。唯此の點に關しては、この法律についても必要なことと思ひますが、この法律についても必要なことと思ひます。

此の 防空法といふのは、二十ヶ條からなり、去る四月公布

十月から實施される 防空法とは？

どなたも心得て置くこと

防空法は來春四月から實施されることになつてゐたところ、時局重大の爲め時期を早めて來る十月から實施することになつたのです。

…

私（松崎氏）は從にこの將軍のお考へが、そこまで育まわたつて子弟を教育された事を非常な感激と共に記憶してゐる。唯此の點に關しては、この法律についても必要なことと思ひますが、

此の 防空法といふのは、二十ヶ條からなり、去る四月公布

お金の出來るまで（五） 上圖 出來上つた貨幣を更に檢査する檢査官 下圖 いよいよ出來上り袋詰。一袋に壹圓紙幣百枚入れ、貨幣に納められる

夏の衣類の お洗濯と藏ひ方

◇浴 衣◇

浴衣は夏中度々洗濯してありますが、最後の時には特に念を入れていたします。糊を澱粉などを用ひ、洗濯ソーダを溶かした中に浸して、極く薄目の糊加減にひどく汚れてゐる部はソーダ液の丸に刷毛で塗つて洗ひ落しますから、決して色褪せなどしません。

洗ひ上がりをよくして、最後に糊をつけて絞り上げ、襞を出して竿にかけますが、襟は絞つた儘ではつけずにおくのです。この時間をかけてゐる浴衣の中には、糊を多く含ませてゐるからと云つて、糊を多くつけるのが良いと思つてゐる方がありますが、それは大變な間違ひで、糊を多くつけますと、洗濯の際に糊を洗ひ落すのに非常に困難を感じますから、糊は薄目にしてつけるやうにしてください。

洗ひ上がりをよくして、最後に糊をつけて絞り上げ、襞を出して竿にかけますが、襟は絞つた儘ではつけずにおくのです。この時間をかけてゐる浴衣の中には、糊を多く含ませてゐるからと云つて、糊を多くつけるのが良いと思つてゐる方がありますが、それは大變な間違ひで、糊を多くつけますと、洗濯の際に糊を洗ひ落すのに非常に困難を感じますから、糊は薄目にしてつけるやうにしてください。

◇麻類と人絹類◇

麻にしても人絹にしても、物にしても夏の衣類は、洗濯をして着ふるのが最も合理的で能率です。洗濯法は前項に準じ洗濯ソーダ約一匁五、六杯の割で入れて溶かした中へ、二十分位煮立てておき、麻は強いアラン、人絹は弱いアランを作つた後、上記と同様にブラシ洗ひをして絞りをしてはなりません。この間多い時間の浸漬は絶対に禁物であつて、一つ一つ手早く洗ひ上げるやうにしてください。

◇上布類◇

上布類も右の麻と殆ど同じ方法でやりますが、洗濯した後更にマルセル石鹸液の中で中位の濃さのブラシで洗ふのです。表裏丁にかけて形を整へて干します。生乾きのときたたんで、そのまま暫く干しにします。

その他、絹織物の中、着物地、洗濯などお洗濯はなるべくしないで出來る時は極力避けてやつてください。

…

衣類のお洗濯は、普通の場合の洗濯方法と同じやうにしてよいのですが、絹物の場合は、洗濯ソーダを用ひてはなりません。洗濯ソーダを用ひますと、絹物は地質が弱くなつて、折角の美しい光澤を失ひ、色も褪せてしまひます。

…

絹物の洗濯は、石鹸液を用ひて洗ひ上げるのですが、洗濯の際に、石鹸液の濃さは、普通の場合の洗濯液よりも薄目にして、ブラシ洗ひをしてください

國定忠次 (57)

(十四場)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

妙な男 (七)

忠次郎は彼の男の足の速さに驚らず、肩を並べて歩いてるが、今し方の遣り取りの疲労で、とやすると遅れがちな。

「さうき、気が降りましたが」

「さうだつたね」

「あれはお前さんのふところから降つたのでせう、どうも済みませんでした」

「いやあ何、お気遣ひなんですか、じやあ両も」

「甲州の市川で一度か二度、野州でも一度、その時には野州でね」

「そんなに昔から目にかけて居たんですか」

「お前さん何だね、野州で最初に降けたときは最初から慣れた仕様だつたね、それその次、どこだつたか矢つぱり野州でさ、その時はちやッと袋つてやがて居たのだなかつた、それが甲州野州だね、いくら何といはうと、云つた文句でお前さん息子の一――ねえ息村の伊三郎をどうにかしようといふ気がだね」

「そんな事まで知つてるんですか」

「お前さんが喋べつたのだよ、吾八という男と二人で、掛合噺のやうにべらべらと、ヘン、口の軽いことだ、人相に似合はないね」

はじめと笑つて、いふことが、大変に感銘に変つた。

「お前さんの目前は、何だ？、一ツちやンとあるのだらう、それだのに、下らねえ奴が喋舌だとか腰抜けだとかいつたけの、真に皆

だね、いくら何といはうと、云つた文句でお前さん息村の――ねえ息村の伊三郎をどうにかしようといふ気がだね」

「そんな事まで知つてるんですか」

「お前さんが喋べつたのだよ、吾八という男と二人で、掛合噺のやうにべらべらと、ヘン、口の軽いことだ、人相に似合はないね」

はじめと笑つて、いふことが、大変に感銘に変つた。

「お前さんの目前は、何だ？、一ツちやンとあるのだらう、それだのに、下らねえ奴が喋舌だとか腰抜けだとかいつたけの、真に皆

「二言ありません、全くその通りです、お前さんお願ひだが、思ひ直しておくれくれませんか」

「いや、お断り、あたしは決めたんだからね、脱盲したんだからね、脱盲したんだからね、脱盲した

(原稿郵便)　(明治一卅五年九月第三種郵便物認可)

臺灣日日新報

夕刊共十二頁

編輯兼發行人　佐々木　舜

地番北市日丁目町榮

社報新日日新報社　所行發

一部六錢・一ヶ月前金壹圓五拾錢　同令八圓・壹ヶ年同金五圓也（日本國內及支那各地）　廣告料　特別一行十五字　壹圓五拾錢　一行　貳圓　通常一行十五字　壹圓　料金前金　振替口座臺北二番

電話代表五八〇一番　編輯二二〇五番　營業用八〇二番　廣告用八〇三番　庶務用八〇四番　會計二二〇六番

元氣ヲツクレ！

森永ミゼット

一ツプ千人リキ

ケインヒイレ
ーハンセ五・コ

新案小型紙芝居進呈
ミゼットの外箱　廿五個
左記にお送り下さい
面白くて爲になる新案
小型紙芝居を差上げます
送先　東京市芝區田町一ノ十二
森永製菓　ミゼット係

株式會社森永製菓

理想的酵母劑

ベストマン

〒1.00

食慾不振
消化不良
榮養障碍

發賣元　帝國製藥株式會社
東京市日本橋區通三丁目

〔S〕

純良白葡萄酒
美味滋養

白玉ホワイトワイン

一億の同胞よ
大失になれ弱くなれ
非常時突破の旺盛な
体力をみんなで培へ
白玉ホワイトワイン
はすこぶる美味且つ
滋養豊富故夕の一杯
を特にお奬めする。

絶對に着色せず

醸造元　江井ヶ島酒造株式會社　兵庫縣灘

婦人倶樂部十月號の大附錄

大三組附錄

昭和二年型

特許出征兵士慰問用の編物と發表

大編物集

戰時大特輯

(一) 應用共二百種全部作方發表

(二) ガラリ變つた今冬の流行型

(三) 何處の家庭でも大喜び！

(四) シヨートル やん〳〵

(五) 一見難しくて易しい 忽ち編める

(六) 中年の方お若い方も大喜び

(七) 應用自在の編物界の大革命！

(八) 配色のコツが覺えられる！

(九) 六かしい目數が誰にも容易

(十) 先づ手ほどき 要點忽ち會得

この編物三十大附錄を同時に添付！！

婦人倶樂部が編物界へ投じた革命的巨彈！！

此の十大特長

(一) 種類の豐富なこと日本一

(二) 型の新しいこと日本一

(三) 子供編物の素晴しさ日本一

(四) 和服用編物の多いこと日本一

(五) 説明は全部鯨尺とメートル併用

(六) 説明圖解の深切さ日本一

(七) お好みの色で自由に編める新工夫

(八) 毛糸の色どり合せ方研究發表

(九) 實用新案編物目數割出し巻尺添附

(十) 編物の手ほどき（別冊附錄）

大感賞

出征兵士慰問 編物用毛糸 二千二百組贈呈

吉川英治 南口鎭突撃前夜

陣中通信

戰禍の通州に父母を失ひ 孤兒で歸つた五才の富士夫ちやん

砲彈下の陣中大座談會

天津國防婦人會員と從軍記者十名

譽れの戰歿將校遺族弔問記

この他記事に寫眞に編物に讀物盛澤山、定價七十五錢、お急ぎ

補血強壯

造血アウトホルモン

ヒトルフ

帝國大學醫學部
病院常備藥

ブルトーゼ
アルドビンブルトーゼ
キナゴアブルトーゼ
ゴアルブルトーゼ
ネオブルトーゼ

冊子「活動の源泉」無代進呈

B1261

製造元
株式會社
森下仁丹
大阪市東區道修町
本社工場
大阪市西區京町堀

エルゼーデーマン ヤンヂン

他機ニ比ベ燃料費消費量絶對少
一時間一馬力當リ一錢強

内燃機界の權威

絶對完全火花其他凡ゆる操作不要

十一十二馬力
十一十六馬力
十八馬力
十六馬力
二十馬力
二十二十五馬力
三十二十五馬力
三十八十五馬力
四十四十五馬力

大量製産・在庫豊富

東京市芝區三丁目
株式會社 山岡發動機 臺北支店
臺北市表町一丁目
電話臺北五〇六〇番

本社・大阪市北區梅田

ニホンカ

日本新藥株式會社

ニホンカ馬

傳染病の豫防と治療に

發賣元　和光堂
東京神田
大阪船場

ARBONIN

丸一組

大連 西行 山東丸 十月一日即十時
大連 直行 九月廿一日即十時
大連 西行 九月廿一日即十時
大連 直行 九月廿一日即十時
大連汽船株式會社

三近海郵船定期船出帆

大阪 門司 神戸 大和丸 九月廿一日即十時發
門司 神戸 大連 大和丸 九月廿七日正午發
神戸 門司 大連 歐洲行 九月廿七日正午發
大阪 門司 神戸 宮崎 丸 十月七日後四時

阿波國共同汽船出帆

桐葉丸 下旬 基隆 宮崎 九州
宮殿丸 九月廿一日 基隆 宮崎 九州

帝國汽船株式會社出帆

◎有線資任圓林區役所組合會記公告
和拾弐年八月拾六日組合會ニ於テ左記ノ通リ組合員ヲ選擧シタリ
番戸組七郎林區永昌林區林區林八拾八番戸組七郎林區永昌林區林區林八拾八番戸組七郎林區永昌林區林區林八拾八

臺灣關係の古文書入手

臺灣文化史上の著大な貢獻

一

帝國が北支に中支に勝ち進んで支那に數々な發言權を得、東亞の新秩序建設の歩を進め、萬邦無比の國體を具てゐる我が國民的自覺に依て文字通り躍進を為し、國民的發展の根源を培養する教育の振興

臺灣に於ける勞力と勞銀問題

本社主催　座談會に聽く

（二）

◇大澤本社主筆　佐々木さん一つお願ひ致します

佐々木氏（專務理事）　私は實際に長く居りますので個人的にブロイゲロイと思いてありますから意見を申上げて置くと云ふ事よりも實際の事情を申上げて置きます先程お話しした樣に工場は段々五人以上の職工を有つて居つて五人以下と云ふものは實際に小規模の家内工業と云ふ樣なものが原因の發達は非常に遲いと云ふ樣なものが原因の發達はまだ非常に遲いと云ふ樣なものが原因の發達はまだ非常に遲いと云ふ樣なものが原因の發達はまだ非常に遲いと云ふ樣なものが原因の發達はまだ非常に遲いと思ひます。それから今一つ內地人側は大部分が農家の六万八千人の中から勞働者の方へ出て來ますと十七万人位あります。非常に若い。若い人と云ふのは十二パーセント、三十歳以下と云ふと九パーセント以下であります。非常に若い。若い人と云ふのは結婚前の女子が非常に多いと云ふの